

## 金武浄水場における粒状活性炭敷設に伴う有機フッ素化合物(PFOS+PFOA)の検出状況

単位：ng/L

検査採水日	水質検査結果（金武浄水場）					所見	
	①着水井 (地下水源)	②沈殿池	③調整井		④浄水池		⑤金武ポンプ場 (水道水)
			活性炭敷設ろ過池	普通ろ過池			
令和4年6月8日	17	—	37	—	38	8	今回、①、③、④、⑤の水質検査を実施し、結果として水道水は8ng/Lの検出。
令和4年6月15日	62	30	16	31	39	14	着水井（地下水源）のPFOSの値67ng/Lが活性炭を敷き詰めたる過池で低減効果があり、ろ過後水で16ng/L、水道水で14ng/Lであった。
令和4年6月28日	44	41	—	—	18	16	今回、①、②、④、⑤の水質検査を実施し、結果として水道水は16ng/Lの検出。
令和4年7月28日	34	47	—	—	1未満	1未満	全緩速ろ過池へ粒状活性炭を投入後、水質検査を実施し、結果として浄水池、水道水は1ng/L未満の数値となり高い効果が確認できた。
令和4年8月4日	17	34	—	—	2	1未満	地下水源のPFOS等の数値の低減が粒状活性炭の効果によって示された。水道水においても1ng/L未満の数値となった。
令和4年8月10日	41	44	—	—	1	1未満	①②④⑤の水質を検査し、継続して粒状活性炭の効果が示され、1ng/L未満の水道水を供給する事ができた。
令和4年8月17日	60	44	—	—	1未満	1未満	①②④⑤の水質を検査し、継続して粒状活性炭の効果が示され、1ng/L未満の水道水を供給する事ができた。
令和4年8月24日	52	45	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年8月31日	72	40	—	—	1未満	1未満	8月度の水道水において安定的な水質を維持できているため、9月からは2週間に1回の検査に切り替え、今後の活性炭の効果の持続性について検証していく。
令和4年9月7日	48	72	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年9月21日	50	49	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年10月5日	100	110	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年10月19日	120	94	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年11月2日	99	110	—	—	1未満	1	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年11月16日	67	85	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年11月29日	82	68	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年12月14日	64	74	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和4年12月28日	74	74	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。
令和5年1月11日	120	90	—	—	1未満	1未満	水道水において安定的な水質を維持できている。

水質検査委託先：沖縄県環境科学センター

※令和2年4月1日に設定された水道水のPFOS及びPFOAの目標値50ng/L

※令和4年7月15日に全緩速ろ過池へ粒状活性炭の投入が完了

※令和5年2月1日より金武地区・並里地区の水道水において地下水の取水を停止し、全量企業局用水となったことから、

本検査の実施及び公表は令和5年1月11日までとする。

金武浄水場平面図

